



観光と歴史

Sightseeing & History of Ichinomiya City

Tanabata Festival / Various Festival / Tradition / Flower /
Shrine / Temple / Ancient Tomb / Remains and Tradition /
Minoji / General and Site of Castle / Historical Figure / Facility /
Bishu Textile / Ichinomiya Morning

愛知県一宮市

Ichinomiya City, Aichi Prefecture

<http://138ss.com/>



絢爛豪華

日本三大七夕まつり



おりもの感謝祭一宮七夕まつり

Textile Thanksgiving Ichinomiya Tanabata Festival

一宮市民の守り神として崇敬される真清田神社の祭神天火明命の母神、萬幡豊秋津師比売命は太古から、織物の神として知られ、そのご加護によって、当地方の織物業が発達したといわれることから、毎年7月の最終日曜日をフィナーレとする木曜日からの4日間、織物と縁の深い牽牛、織女に因み全市をあげて『おりもの感謝祭一宮七夕まつり』が繰り広げられる。

昭和31年(1956)に開始された一宮七夕まつりは、市民の夏の最大イベントとして根をおろし、仙台・平塚の七夕まつりと並びその飾り付けの絢爛豪華さは内外の観光客から日本三大七夕まつりの一つと称賛される程で、会期中の人出は100万人を超える。なかでも「御衣奉獻大行列」は、延々300mにもおよぶ大行列である。他にも、「一宮七夕まつりコスプレパレード」、「盆踊り大会」、「ワッショーいちのみや」など多彩な行事が行われる。

盆踊り大会
Bon Festival Dance





御衣奉獻大行列
Onzo Hoken Grand Procession

一宮七夕まつりコスプレパレード
Ichinomiya Tanabata Festival Cosplay Parade



音楽隊パレード
Musical Band Parade



ワッショーいちのみや
Wassyō Ichinomiya



尾張随一

夜空を彩る迫力の二尺玉

濃尾大花火

Nobi Fireworks Festival

毎年8月14日は岐阜県羽島市との共催で濃尾大花火が開催される。木曾川に浮かぶまきわら舟が幻想的な彩りを添えるなか、尾張地方随一の大きさの20号(2尺玉)の大玉をはじめ、色とりどりの花火が打ち上げられる。

濃尾大花火の歴史は古く、明治25年(1892)に仕掛花火や打上げ花火が催された起川祭が始まりである。平成5年(1993)には木曾川を挟む兩岸の尾西市(現在の一宮市)と羽島市の共催によって運営され、これまでの規模を超える大きなものに発展した。

また、まきわら舟は、心柱に1年の月数を表す柱提灯を12張、その下に1年の日数を表す小提灯を365張飾るほか、屋形の軒周りにも提灯を飾り、川面を彩っている。(起)



びさいまつり

Bisai Festival

10月の第4日曜日とその前日に開催する市民参加のイベント。尾西庁舎と尾西第一中学校を結ぶルートがメイン会場で、十二単を着た織姫、童女が2台の輦ひこに担がれて登場する「織姫パレード」のほか、「みこし・仮装パレード」が華やかに展開される。

(東五城・三条)



一豊まつり

Kazutoyo Festival

安土桃山時代の武将として名高い山内一豊の生誕の地に因み一豊まつりが開催される。木曾川町の銀座通りで甲冑かっちゆうに身を包んだ一豊公とその妻お千代のパレードが行われる。また、メイン会場では一豊公を顕彰する様々なイベントが展開される。

(木曾川町黒田)



全国選抜チンドン祭

The National Chindon Festival

毎年5月第4日曜日に萩原商店街で開催される、今では全国的にも数少ないお祭り。全国からチンドンマンが集まりパフォーマンスを競い合う「全国選抜チンドンコンクール」が目玉の一つ。

また、秋には「素人チンドン大会」が開催される。
(萩原町 萩原商店街)

冬の七タカーニバル ～一宮イルミネーション～

Winter Tanabata Carnival "Ichinomiya Illumination"

夏の風物詩である「一宮七夕まつり」や秋の「だいたいフェスタ大集合」に連動する冬のイベント。20万球の色鮮やかイルミネーションが一宮駅周辺を美しく彩る。駅西口では、市民が参加するイルミネーション作品展を開催する。
(一宮駅周辺)



杜の宮市

Morinomiya ichi

江戸時代の門前市「三八市」の復活を目指す地域の想いと、市民グループのまちづくりへの想いが重なり生まれた文化のまつり。

真清田神社を中心にアート、クラフト、ワークショップやフード、ライブまで幅広いブースが1km以上軒を連ね、毎回3万人を超える人出で賑わう。

■イベントカレンダー

3月25日～4月10日	一宮桜まつり	大江川緑道他
4月1日～3日	桃花祭	真清田神社他
4月19日以降の最初の日曜日	石刀祭	石刀神社(今伊勢町馬寄)
4月下旬	一宮つじ祭	浅野公園
5月3日～5日	いちのみやリバーサイドフェスティバル	国営木曾三川公園138タワーパーク
5月上旬	杜の宮市	真清田神社境内とその周辺
5月第4日曜日	全国選抜チンドン祭	萩原商店街
6月上旬	花しょうぶ祭	萬葉公園高松分園(萩原町高松)
6月中旬	尾西あじさいまつり	御裳神社(三条)
7月最終日曜日を最終日とする4日間	おももの感謝祭 一宮七夕まつり	市内一円
8月14日	濃尾大花火	濃尾大橋北 木曾川河畔

9月中旬	一豊まつり	市立黒田小学校他
旧暦の8月1日	芝馬祭	白山社(浅野)
10月上旬～下旬	一宮だいたいフェスタ大集合	市内一円
10月第3日曜日	素人チンドン大会	萩原商店街
10月第4日曜日とその前日	びさいまつり	尾西庁舎周辺
10月第4日曜日	甘酒祭	八幡神社(丹陽町重吉)
10月下旬	おいち祭り	本町商店街
11月上旬	菊花大会	国営木曾三川公園138タワーパーク
11月下旬	もみじまつり	尾西歴史民俗資料館別館
12月上旬～翌年1月中旬	冬の七タカーニバル～一宮イルミネーション～	一宮駅周辺



桃花祭

Peach Flower Festival (Toka Festival)

往古、真清田神社の周囲は「松降荘青桃丘」とよばれ、桃の木が群生し神社の近くを木曾川の支流が流れていた。

参詣者は古来お祓いの力があるといひ伝えられていた桃の小枝を切り取り、自分自身を祓い清めた後、木曾川支流に流したことから、桃花祭は除災招福の祭りとして伝えられている。真清田神社の大祭(例祭)として、かつて陰暦3月3日の桃の節句に行われていたが、明治43年(1910)、太陽暦の4月3日を大祭日とした。特殊神事として、4月1日の短冊祭、2日には歩射神事と試楽祭が行われる。大祭の3日には「御神輿渡御」や「流籠馬神事」などの献馬行事がある。(真清田1丁目 真清田神社)



ばしょう踊(県指定無形民俗文化財)

Basho Dancing (Intangible Folk Cultural Property designated by Aichi Pref.)

古くから、雨乞踊りの名称で伝えられ、芭蕉と呼ぶ指物状のものを背負い、太鼓を胸につけた武将を中心とし、鉦擦り、笛吹き、唄いで構成されている。芭蕉は、竹を12本に割り裂いて12ヶ月を意味させ、雨乞祈願の時は白、雨が叶った御礼踊りのときは5色の紙に取り替えられ、その1年の日数分を用意したといわれている。

(北方町北方 ばしょう踊保存会)



芝馬祭(県指定無形民俗文化財)

Shiba-uma Festival (Intangible Folk Cultural Property designated by Aichi Pref.)

チガヤを刈って芝馬を造り、これに縄をつけて子供たちが町内を引き廻し、悪事災難を免れ無病息災を願い、最後に水法川へ流す。

(浅野 芝馬祭保存会)



甘酒祭(市指定無形民俗文化財)

Amazake (Sweet Wine) Festival (Intangible Folk Cultural Property designated by Ichinomiya City)

甘酒と強飯を氏神様にお供えし、豊作を祈願。そのお供えものを裸の年男が観光客に撒き散らす。

(丹陽町重吉 重吉甘酒祭保存会)



石刀祭

(県指定無形民俗文化財) Iwato Festival (Intangible Folk Cultural Property designated by Aichi Pref.)

県内では数少ない頭人の祭りである。市指定有形民俗文化財の山車3台が、笛・太鼓のお囃子にあわせて「からくり人形」を奉納する。現在、例祭の神事は毎年4月19日に行われ、これ以後の最初の日曜日に山車からくりと献馬が奉納される。

(今伊勢町馬寄 石刀神社)



宮後住吉踊(市指定無形文化財)

Miyashiro Sumiyoshi Dancing (Intangible Cultural Asset designated by Ichinomiya City)

大阪住吉神社の御田植神事の奉納舞として行われたのがその起源といわれる。伝承されている手踊りは7曲、段物(狂言舞踊)は4演目である。

(今伊勢町宮後 宮後住吉踊保存会)



木曾川堤の桜 Cherry blossoms along the Kisogawa River bank



大江川緑道の桜 Cherry blossoms along the Oegawa pedestrian path

一宮桜まつり Ichinomiya Cherry Blossom Festival

大江川緑道(大乘公園～須ヶ崎橋)、青木川河畔、浅井山公園、木曾川堤、稲荷公園、真清田神社、尾西緑道の桜を中心とした春のまつりである。大江川緑道の桜は、期間中ライトアップされ幻想的である。



一宮つつじ祭 Ichinomiya Azalea Festival

浅野公園内には約1,000株もの色とりどりのつつじが植栽され、4月下旬～5月初旬には見事な花を咲かせ、多くの観光客の目を楽しませてくれる。(浅野)



花しょうぶ祭 Japanese Iris Festival

萬葉公園高松分園では38種類の花しょうぶが植栽され、5月～6月には見頃となる。

(萩原町高松)



尾西あじさいまつり Bisai Hydrangea Festival

御裳神社に咲き誇るあじさいの観賞ほか、抹茶の野点、民謡・詩舞・和太鼓などアトラクションが行われる。(三条)



もみじまつり Maple Festival

国登録有形文化財である旧林家住宅(尾西歴史民俗資料館別館)庭園で、美しい紅葉とともにさまざまな催事を楽しむことができる。(起)



① ^{ま す み だ}真清田神社 Masumida Shrine

「一宮」とは古く平安時代から既に用いられた名称である。国司がその国に赴いたとき、一番初めに参拝する神社を「一の宮」といった。真清田神社は尾張の国の「一の宮」であった。したがって、たいへん由緒も深く、信仰も厚い神社として広く知られている。御位をあらわす「一の宮」の名は、いつしか神社を中心として発達したこの地の地名として用いられるようになった。祭神天火明命あめのほあかりのみことは天照大神の孫にあたり、鏡造りの祖といわれ、また尾張人とつおやの遠祖ともいわれている。

祭神の母の萬幡豊秋津師比売命よろずはたとよあきつしひめのみことは織物の神として、同じ境内はとりの服織神社まつに祀られている。また、宝物館に展示されている神宝の内「舞楽面」12面は重要文化財に指定されているほか、県・市の文化財に指定されている宝物も数多くある。

(真清田1丁目)



宝物館
Homotsukan (Treasure Museum)



陵王面 (国重要文化財)
Ryo-o mask
(Important National Cultural Asset)



服織神社 Hatori Shrine



② 妙興寺 Myokoji Temple

妙興寺(長嶋山妙興報恩禅寺)は、貞和4年(1348)滅宗宗興を開山とする臨済宗妙心寺派の寺院である。伽藍は、貞治4年(1365)に完成したとされている。南北朝時代、尾張の北朝勢力の拠点として隆盛を極めた。



鬱蒼とした樹林に包まれた境内地は県指定史跡であるほか、「妙興寺文書」、「紙本著色足利義教像」、「絹本著色仏涅槃図」、「紙本著色豊太閤画像」をはじめ、多くの文化財を保有する。幾度かの災害により、多くの建造物が失われたが、国指定重要文化財の勅使門は創建当初来の姿を今日に至るまで伝えている。

当門には文和2年(1353)後光厳天皇より賜った勅額「国中無双禅刹」が掛かっている。(大和町妙興寺)

◀ 石庭(尼連禅河) Rock Garden



勅使門(国重要文化財)
Chokushi-mon Gate
(Important National Cultural Asset)



鐘楼(県指定史跡)
Belfry
(Historical Site designated by Aichi Pref.)

③ ^{おお みわ}大神神社

Omiwa Shrine

祭神は、三輪の神と呼ばれる大物主神。稲作豊穰、酒造り、疫病除け、縁結び等、生活全般の守護神である。

奈良県桜井市の大神神社と同名であり、大和系の先人が当地に移り住み、三輪の神を祀ったことに始まったと伝わる由緒ある神社。延長5年(927)に纏められた「延喜式神名帳」において、尾張国中島郡に「大神神社 名神大」と記されている。

神宝として、市指定文化財の木造狛犬1対、刀剣3振が市博物館に寄託されている。

(花池)



④ 禅林寺

Zenrinji Temple

寺伝によると、天禄元年(970)、尾張公藤原実頼の冥福を祈るため薬師如来を像造し、小野院極楽寺と号したのが始まりとされている。その後、大洪水により流失するが、明応6年(1497)、田園より薬師如来像が出現。領主の大願により修理される。大永5年(1525)に曹洞宗に改宗し、正保5年(1648)に仙境山禅林寺と改めて現在に至る。

東海四十九薬師霊場十二番札所であり、薬師堂内に国指定重要文化財の薬師如来坐像、日光・月光菩薩像、十二神将像を安置している。

(浅野)

⑤ ^{あざい}浅井古墳群(県指定史跡)

The Group of Azai Ancient Tombs
(Historical Treasures designated by Aichi Pref.)

この古墳群は、古来「四十塚」と呼ばれ、50基以上の古墳があった。県文化財に指定されているものは5基(愛宕塚古墳、岩塚古墳、毛無塚古墳、小塞神社古墳、桃塚古墳)で、いずれも古墳時代後期の築造と考えられる。出土品は、市博物館に展示されている。

(浅井町尾関)



岩塚古墳の石室と石棺

A burial mound and a sarcophagus of Iwatsuka old burial mound



6 ^{いなりやま}稲荷山古墳 (市指定史跡)
Inariyama Ancient Tomb
(Historical Site designated by Ichinomiya City)

墳丘の規模は径40m、高さ6.64mの二段築成の円墳とされる。周溝跡は確認できない。丘上には神明社が祀られており、見晴らしがよい。(三ツ井8丁目)



7 ^{まみづか}馬見塚遺跡 (県指定史跡)
Mamizuka Remains
(Historical Site designated by Aichi Pref.)

馬見塚遺跡は縄文晩期から弥生、古墳時代にわたる遺跡で大正15年(1926)に発見された。主な出土品は合わせ口甕棺、単棺、打石斧、磨石斧、石皿、石棒など各種の石器が出土している。出土品は現在、市博物館に展示されている。(馬見塚)



8 ^{あぶらでん}油田遺跡
Aburaden Remains

この地にむかし真清田大神が降臨し、後年現在地に遷座したと言われている。

(多加木2丁目)



9 田所遺跡
Tadokoro Remains

東海北陸自動車道建設に伴う発掘調査の結果、古墳時代の水田跡、中世の墓地跡が検出され、三つの時代にわたる複合遺跡であることが確認された。(田所)



10 ^{てるて}照手姫袖掛け松
Terute-hime Sode-kake
(hanging kimono) Pine

室町時代中ごろ、浄瑠璃や歌舞伎などで名高い照手姫が常陸(茨城県)の城主、小栗判官助重と京都へ向かう鎌倉街道沿いの同所で、小袖を掛けて休息したと伝えられている。(牛野通2丁目)



11 ^{けんときいし}七つ石<剣研石>
(市指定史跡)
Seven Stones

(Kentogi (Sword-sharpening) Stones)
(Historical Site designated by Ichinomiya City)

日本武尊が熱田の森(熱田神宮)から伊吹山に向かう途中、この石で剣を研いだという伝説から「剣研石」ともいわれる。

(大和町戸塚)



12 ^{かさかけ}笠懸の松<下り松>
Kasa-kake (Hat-hanging) Pine Tree (Hanging Pine Tree)

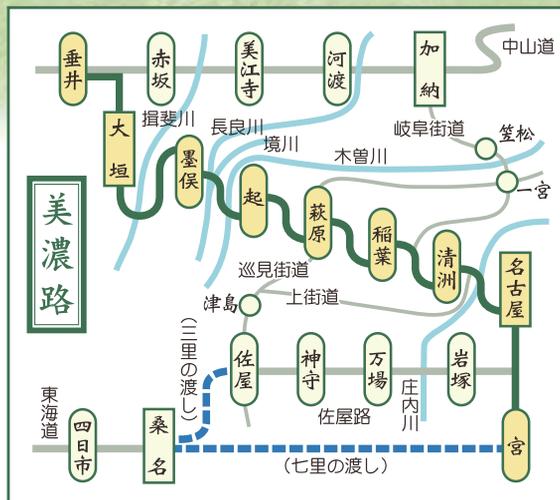
この地は、日本武尊が笠を懸けて小休止した跡といわれる。

(大和町宮地花池)

美濃路 Minoji

美濃路は東海道の宮宿(名古屋市熱田区)から名古屋・清洲・稲葉・萩原・起・墨俣・大垣の七宿を経由して、中山道の垂井宿(岐阜県不破郡)を結び、東海道や中山道などの五街道に付属する脇往還として江戸幕府の道中奉行の支配下に置かれていた。美濃路が多く利用されたのは、東海道の難所である鈴鹿峠と、桑名と宮の間の海上交通、いわゆる「七里の渡し」を迂回できたためである。

また、将軍の上洛や多くの西国の大名の参勤交代に使われたほか、朝鮮通信使や琉球使節の通行や献上品であった茶壺や象の移動に、そして庶民の旅にとさまざまな人々に利用され、大いに発展した。



起宿 Okoshi Juku



起宿脇本陣跡 (市指定史跡)

Site of Okoshi Juku Waki Honjin
(Historical Site designated by Ichinomiya City)

起宿脇本陣跡の庭園 ▶
(国登録記念物)



起宿は現在の一宮市起近辺で、木曾川の起渡船場のある宿場町で水陸交通の拠点として賑わい、起村、富田村、西五城村、小信中島村、東五城村が宿役を負担していた。本陣・脇本陣が各1軒、旅籠屋22軒で渡し場を控えていること、美濃路の行程のほぼ真ん中に当たることから休泊する大名も多かった。

また、将軍や朝鮮通信使等の渡河に際しては木曾川に船橋を架けた。本陣・脇本陣ともに下町にあり、本陣は加藤家、脇本陣は林家が務め、林家は船庄屋、村庄屋も兼帯した。脇本陣は明治24年(1891)の濃尾地震で倒壊したのち、大正初めごろ建てられた旧林家住宅(国登録有形文化財)が尾西歴史民俗資料館別館として公開されている。(起)



萩原宿 Hagiwara Juku

萩原宿は現在の一宮市萩原町で萩原、西之川の2村と串作村の一部からなり、本陣・脇本陣が各1軒、旅籠屋17軒で家数、人口共に美濃路7宿中、最も規模の小さい町である。本陣・脇本陣とも上町にあり、本陣は森権左衛門が、脇本陣は森半兵衛がそれぞれ世襲した。明治24年(1891)の濃尾地震は萩原宿に大きな被害をもたらした。現在、江戸時代の面影は薄れているが、萩原商店街として人々で賑わう町並となっている。

(萩原町萩原・串作)

◀萩原宿本陣跡



14起渡船場跡(県指定史跡)

Site of Okoshi Ferry (Historical Site designated by Aichi Pref.)

起渡船場は木曾川の渡りで、川幅540間余(約982m)、尾張藩船手奉行の管轄下で、起宿の船庄屋が治めた。起の渡しには上流から定渡船場、宮河戸、船橋河戸の3ヵ所の渡し口があり、定渡船場は常用された渡し口で、幾度も改修を受けた常夜灯がある。江戸初期の將軍家や朝鮮通信使など大行列の通行の際には、寄船と称し近郷の川沿いの村々から船を徴集し、270隻以上の船をつなげた船橋を架けた。(起地内:写真は定渡船場)

15富田一里塚(国指定史跡)

Tomida Milestone
(Historical Site designated by Japan)

美濃路で唯一、道の両側に塚が現存し、榎の大木が今なお生い茂る。昭和12年(1937)に国の史跡に指定され、西側には小公園がある。
(富田)



◀左塚(西塚)



▼右塚(東塚)



16高木一里塚

Takagi Milestone

明治初年まで道の両側に塚があり榎も残っていたが、いつの間にか円形の田になり、現在は塚が残っていない。
(萩原町高木)



17天神の渡し跡

Site of Tenjin Ferry

日光川はかつて木曾川の主流のひとつで、慶長年間(1596~1615)まで、ここに渡船場があり「天神の渡し」と呼ばれていた。のちに川幅が狭められて渡しは廃止された。
(西萩原)



18尾西歴史民俗資料館

Bisai Museum of History and Folklore

江戸時代、美濃路の宿場町として栄え、その後、織物の町へと変化発展してきた尾西の歴史を、1「河戸のある町場」、2「渡し場のある宿場」、3「機音のする町で」、4「伊吹おろしのもと土にまみれて」の4つのテーマのもとに模型やDVDなどの映像とともに各種の資料を展示している。年数回地域に根ざした特別展やコーナー展示を行っている。

(起)

美濃路宿勢一覧
(天保14年<1843>)

	東海道				美濃路					中山道
宿名	宮宿	名古屋宿	清洲宿	稲葉宿	萩原宿	起宿	墨俣宿	大垣宿	垂井宿	
家数	2,924軒	1,157軒	521軒	336軒	236軒	887軒	338軒	903軒	315軒	
人口	10,342人	4,188人	2,545人	1,572人	1,002人	4,094人	1,317人	5,136人	1,179人	
旅籠数	248軒	0軒	21軒	8軒	17軒	22軒	10軒	11軒	27軒	
本陣	2軒	0軒	1軒							
脇本陣	1軒	0軒	3軒	1軒	1軒	1軒	1軒	1軒	1軒	
間屋場	1か所	1か所	1か所	3か所	2か所	2か所	1か所	1か所	3か所	
助郷村	20か村	0か村	20か村	21か村	27か村	20か村	19か村	22か村	9か村	



高知県立高知城歴史博物館所蔵

山内一豊 1545-1605

Yamauchi Kazutoyo

安土桃山時代の戦国武将・山内一豊は、天文14年(1545)、岩倉織田氏の家老をつとめ、尾張国黒田城を預かっていた山内盛豊の次男として生まれ、弘治3年(1557)、黒田城が夜襲を受けるまでの13年間をこの地で過ごした。

永禄2年(1559)、織田信長の岩倉城攻めにより父盛豊が死去してからは岩倉も追われ、織田浪人として各地を流浪したといわれる。

永禄10年(1567)から元亀年間に至る間に織田信長に仕え、天正元年(1573)、越前刀根山の朝倉追撃戦で朝倉家でも剛勇の誉れ高かった三段崎勘右衛門を組討の末に倒し、その功績が認められ信長から近江唐国(滋賀県長浜市)四百石を与えられ領主となった。

その後、豊臣秀吉、徳川家康の尾張三英傑に巧みに仕え、慶長5年(1600)の関ヶ原の合戦後には土佐一国を与えられ20万石の領主となった。

山内一豊関係略年譜

- | | |
|-------------|--|
| 天文14年(1545) | 黒田城(現在の一宮市木曾川町)にて誕生。 |
| 弘治 3年(1557) | 黒田城が夜襲にあい、父盛豊は負傷、兄十郎が討死。 |
| 永禄 2年(1559) | 織田信長が織田信賢の岩倉城を落とし、尾張を統一。
一豊の父盛豊、織田信賢方であって戦死。 |
| 永禄 3年(1560) | 元服し伊右衛門一豊と名のる。 |
| 元亀元年(1570) | 朝倉義景攻めに参加、金ヶ崎城の戦いに参戦する。 |
| 天正元年(1573) | 織田軍として越前刀根山の朝倉追撃戦に加わる。
この時、敵将から顔面に矢を受けながらも奮戦する。
近江唐国(滋賀県虎姫町)に4百石を与えられる。 |
| 天正 3年(1575) | 秀吉に従い長篠の戦いに参戦する。 |
| 天正11年(1583) | 秀吉に従い龜山城戦、賤ヶ岳戦に参戦する。 |
| 天正12年(1584) | 秀吉に従い小牧・長久手合戦に参戦する。
近江長浜に5千石を与えられる。 |
| 天正13年(1585) | 秀吉に従い紀州征伐に参戦する。若狭高浜に1万9千8百石
を与えられる。秀吉に従い越中戦に参戦する。近江長浜に
2万石を与えられる。羽柴秀次の老臣となる。 |
| 天正18年(1590) | 秀次に従い、伊豆山中城を攻める。
遠江掛川5万石を与えられる。 |
| 文禄元年(1592) | 山内忠義(二代藩主)生まれる。 |
| 慶長 5年(1600) | 関ヶ原の合戦。小山軍議で掛川城明け渡しを建議する。
土佐一国の領主となる。 |
| 慶長 6年(1601) | 甲浦に上陸、浦戸城へ入城する。 |
| 慶長10年(1605) | 9月20日、61歳で没する。真如寺山(筆山)に葬られる。 |



19 黒田城跡

Site of Kuroda Castle

戦国時代からこの地にあった城で七代の城主の記録が残っている。中でも土佐20万石の大名に出世した山内一豊はこの城で生まれ(大正6年<1917>)愛知県が建てた「黒田城跡」碑の裏面に銘記)、13歳でこの城を離れたとされる。

また一豊顕彰会が設置した、偉人を讃えた「一豊立志像」がある。

(木曾川町黒田)



20 木曾川資料館

Kisogawa Museum of Folklore

山内一豊を中心に浅野長政、兼松正吉、奥村永福^{ながとみ}など一宮市ゆかりの戦国武将、史跡などを紹介している。

建物は大正13年(1924)に竣工した旧木曾川町会議事堂で、平成18年(2006)国の登録有形文化財となった。

(木曾川町黒田)



21 聖徳寺跡 (市指定史跡)

Site of Shotokuji Temple
(Historical Site designated by Ichinomiya City)

戦国時代、浄土真宗の大寺院であった聖徳寺は、尾張・美濃国境の当地にあった頃、織田信長と斎藤道三が初めて会見した場所として知られている。(冨田)



22 浮野古戦場跡

Ancient Battlefield of Ukino

永禄元年(1558)清洲城主・織田信長は岩倉攻略をはかり、これに対して岩倉城主織田信賢が、応戦、ここに信長勢に加担する犬山城主・織田十郎左衛門信清が加わり三軍が浮野において衝突した。この合戦で討死した者をとむらった「浮剱首塚」跡に「浮野合戦場址」の碑が建てられている。

(千秋町浮野)

23 一宮城跡

Site of Ichinomiya Castle

この城に住んでいた関氏は平重盛の子孫で、伊勢関氏の一族である。関長安は、はじめ織田信長に、のちに秀吉に仕え、天正12年(1584)小牧・長久手合戦で討死した。この城には、豊臣秀吉も立寄ったことがあったが、のちには織田信雄の家来の不破源六広綱の城となり、天正18年(1590)広綱が去ってから廢城になった。(本町三丁目)



24 北方代官所跡

Site of Kitagata-Daikansyo

天明元年(1781)に北方堤防上に北方代官所(陣屋)が設置され、その管轄は、尾張(愛知県)、美濃(岐阜県)の両国にまたがっており、併せて

川並奉行所も置かれていた。(北方町北方)



25 重吉城跡

Site of Shigeyoshi Castle

尾藤源内重吉の城と伝えられる。天正12年(1584)、小牧・長久手合戦の時、徳川・織田軍の小牧山の付城として清洲と小牧を結ぶ連絡確保の役割を担っていた。

(丹陽町重吉)



26 河田城跡

Site of Koda Castle

天正12年(1584)、小牧・長久手合戦の時、秀吉が小牧山の徳川・織田軍に対して構築した城砦の一つ。昭和38年(1963)に護岸工事のため湮滅した。(浅井町河田)



27 奥村永福公 出生地の碑

Birthplace of
Nagatomi Okumura

戦国武将前田利家に仕え、数々の武勲をたてた奥村永福公の碑。

前田家の命運をかけた戦となった、天正14年(1586)末森城の合戦での奥村公の功績は特に抜群であった。(奥町)



川合玉堂 1873-1957
Gyokudo Kawai

近代日本画の巨匠・川合玉堂は、明治6年(1873)に葉栗郡外割田村(現在の一宮市木曾川町外割田)の現在玉堂記念木曾川図書館が建つ場所で産声を上げ、8歳の時に岐阜へ移ったのち、18歳で京都、23歳で東京に転居し、太平洋戦争の際に疎開した多摩川上流の東京都西多摩郡三田村御嶽(現在の青梅市御岳)が終の住まいとなった。

17歳の時の第3回内国勸業博覧会をはじめ、展覧会で多くの賞を受賞し、若くして審査員を務めるなど、日本画壇を代表する画家となった玉堂は、日本の自然を詩情豊かに描いて数多くの名作を遺した。そして、偉大な画家として尊敬されるとともに、その温かい人柄によって、今もおお多くの人々に愛され親しまれている。



28 川合玉堂生誕の碑
Birthplace of Gyokudo Kawai
(木曾川町外割田)

川合玉堂関係略年譜

- 明治6年(1873) 愛知県葉栗郡外割田村(現在の一宮市木曾川町外割田)に、父川合勘七、母かなの長男として生まれる。本名芳三郎。
- 明治14年(1881) 一家で岐阜米屋町に移住、岐阜尋常高等小学校に転校。
- 明治20年(1887) 青木泉橋の紹介で京都の望月玉泉に入門、「玉舟」の号をもらう。年間に数回、岐阜と京都を往復する。この頃から盛んに俳句をつくる。
- 明治23年(1890) 第三回内国勸業博覧会出品にあたり、「玉堂」と改める。
- 明治29年(1896) 東京の橋本雅邦を訪ねて入門を乞う。
- 明治31年(1898) 岡倉天心・橋本雅邦・横山大観ら日本美術院を創立。師雅邦に従ってこれに加わる。
- 昭和15年(1940) 紀元二千六百年式典当日、文化勲章を受章する。
- 昭和19年(1944) 東京都西多摩郡三田村御嶽(現青梅市御岳)に疎開する。
- 昭和31年(1956) アメリカの雑誌「ホリデー」主催による世界美術展に日本を代表して作品《鶉飼》を出品。
- 昭和32年(1957) 心臓喘息症をおこし自宅療養。一時快方に向かうが、6月上旬病状が悪化し、30日逝去。同日、勲一等旭日大綬章を受ける。
- 昭和36年(1961) 青梅市御岳の多摩川の渓流沿いに玉堂美術館開館。
- 昭和38年(1963) 木曾川町外割田(現一宮市)に、郷土の有志らにより、玉堂生誕地碑が建立される。
- 平成13年(2001) 生誕地に木曾川町立図書館が建設され、玉堂記念展示室が設置される。
- 平成17年(2005) 一宮市・尾西市・木曾川町が合併。
図書館は、一宮市立玉堂記念木曾川図書館と改称。



《五月雨》昭和24年



《鶉飼》昭和29年



29 井口唯志の碑
Monument of Tadashi Iguchi

貧しく寂しく苦しき中にも志をまげず、28年の生涯を終えた井口唯志の碑。彼が感性豊かな少年期を過ごしたこの地に立つ。

大正から昭和にかけて執筆発表した「幻の十字架」「白蛾」等の小説・随筆はたぐい稀にみる才能に溢れ、その文蹟は今も生き続けている。
(浅井町大日比野)



三岸節子 1905-1999

Setsuko Migishi

華やかな花の絵や詩情あふれるヨーロッパ風景などで人々を魅了し続け、女性洋画家の先駆者として知られる三岸節子は明治38年(1905)中島郡起町(現在の一宮市起)で生まれた。油絵を勉強するために16歳で上京、洋画家の岡田三郎助に師事し、女子美術学校を主席で卒業、在学中に出会った若き画家・三岸好太郎と19歳で結婚した。その後、29歳の若さで未亡人となったが、絵筆を折

るどころか、画家としての道を貫き、画壇では次第に実力と努力が認められ地位を確立していった。画家として注目を集めながら女流画家協会などの設立に加わるなど、画業と女性画壇の地位向上に努めた功績から、1989年度朝日賞を受賞した。また日本人の女性洋画家として初めてアメリカのワシントン女性芸術美術館で展覧会が開催され、世界にもその名を知られている。

③0 三岸節子記念美術館

Memorial Art Museum of Setsuko Migishi

三岸画伯の生涯にわたる作品を収集・展示している。毛織物工場をモチーフとした建物、画伯が好んで描いたヴェネチアをイメージした水路や現存する土蔵を活かし、愛用の品々を展示するなど、在りし日の画伯を偲ぶことのできる美術館である。



(小信中島)

佐藤一英 1899-1979

Ichiei Sato



風土の香りと浪漫的宗教観を漂わせて「神秘的象徴主義」と評される独自の詩風を生んだ詩人・佐藤一英は明治32年(1899)中島郡萩原町(現在の一宮市萩原町)で生まれた。大正7年(1918)に早稲田大学に入学し、同級の吉田一穂、中山義秀、横光利一等を集めて詩の研究会を開き、詩と絵による回覧雑誌「朗朗」を発行した。大正11年(1922)には第一詩集「晴天」を発表して萩原朔太郎に認められ中央詩壇に新進詩人として登場し、日本史における韻律の探求と実践に努めた。また、郷土をこよなく愛した一英は萩原町の萬葉公園内の「樫の木文化資料館」の建設に深く関わるとともに、ふるさとの子どもたちにたくさんの校歌や童謡などを残した。



萬葉公園内の歌碑



③1 人麿塚

Hitomaro-zuka
(ancient tomb mound)

古来河田の四つ塚の一つで、葉栗臣人麿(別名栗本人麿)の墓と伝えられる。7世紀後半頃、葉栗郡で郡司として善政を行い、光明寺(現存)を建立した。昭和8年(1933)県道工事のときに発見され、現在の地に塚が移築された。

(浅井町河田)

③2 有隣舎跡

Site of Yurinsha

鷺津幽林は若くして京都に出て勉強し、のち家(丹羽)に戻り安永年間の頃(1772~1781)近隣の人々に漢学を教授したのが漢学塾・萬松亭有隣舎のおこりである。(丹羽)



ツインアーチ 138 Twin Arch 138



ローズストリーム

Rose Stream

138タワーパーク内にあるバラ園「ローズストリーム」は、9品種約4,000株のバラが5月下旬と11月の2回、見事な花を咲かせる。

A いちさんほち 138タワーパーク (国営木曾三川公園三派川地区センター)
 138 Tower Park

平成7年(1995)4月に開園の大芝生広場を配した園内には、バラ大花壇「ローズストリーム」、大きな屋根やクライミングウォールがある「つどいの広場」等、いろいろな施設が設けられている。園内には様々な花木が栽植されており、四季折々の花にちなんだイベント「さくら祭り」、「スプリングフェスタ」、「サマーフェスタ」、「オータムフェスタ」等が盛大に行われ、多くの人で賑わう。また、木曾川の美しい流れをイメージした大小2本の双曲線アーチがそびえ立つ、高さ138メートルの展望塔「ツインアーチ 138」では、高さ100メートルの展望室から、広大な濃尾平野、雄大な木曾川の流れや日本アルプスの峰々を一望することができる。

(光明寺)

ツインアーチのメリークリスマス
Twin Arch Christmas celebrations

B 一宮市博物館

Ichinomiya City Museum

昭和62年(1987)11月に開館した一宮市博物館は、南北朝時代に創建の長嶋山妙興報恩禅寺の境内に建設、一宮の歴史と文化を雄弁に物語る遺産を一堂に展示してある。

(大和町妙興寺)

C まんよう 萬葉公園

Man'yo Park

“遠い日の萬葉のふるさとをしのんで散策してみませんか”古くから萩原の地名があるこの地は萩の名所として万葉集に数多く歌われていると伝えられ、これにちなんで昭和32年(1957)に歌碑が建立され、萬葉公園と名づけられた。また、新しい元号「令和」を記念し、令和2年2月に歌板が建立された。(萩原町戸苅・築込・高松)



D 浅野公園

Asano Park



浅野家は源氏の流れで、代々浅野の地に住み浅野を姓とした。今から400年前、長政は叔父浅野長勝に養われ、この地で成長した。織田信長のお弓頭を勤めていた長勝には二人の娘があり姉(祢々)は豊臣秀吉に嫁し(北政所)、妹(弥々)は長政の妻となった。こうした由緒深い浅野長政の屋敷跡を、大正6年(1917)に昔ながらに復元したのが浅野公園である。また、同公園には珍木“ひとつばたご”(通称なんじゃもんじゃ)の大木や、祢々ゆかりの高台寺から寄贈されたホンキリシマツツジとシロヤブツバキがある。

(浅野)



尾州織物

Bishu Textile



日本のほぼ中央、愛知県北西部に位置する一宮市。「尾州」と呼ばれたこの土地を優雅に流れる木曾川は、肥沃な土地を生み出した。人々は自然の恵みを活かして綿花や桑を栽培し、それらを木綿や絹織物といった形にしてきた。

江戸中期に真清田神社の門前で始まった三八市に代表される「市」での織物の売買や行商を通じて、尾州には多くの情報が集まった。その情報をもとに磨かれた確かな技術により、一宮は縞木綿の一大産地として名を馳せた。

近代にはいち早く工業化に成功。豊富で良質な木曾川の水を利用し、毛織物工業は繁栄していく。糸が交わり、美しい布地が織られるように、水と人、人と人の交流が尾州織物を大きく発展させたのである。

尾州産地では、糸から生地になるまでの全ての工程を完結できることから、その連携の妙が織りなす多彩な表現力と高い品質が国内のみならず海外でも幅広く評価され、イギリスのハダースフィールド、イタリアのピエラと並び、世界三大毛織物産地と称されている。



一宮モーニング

Ichinomiya Morning



一宮の街で500店を数える喫茶店。朝の時間帯を中心にドリンク代のみでトーストや卵料理、サラダなどが付く「モーニングサービス」発祥の地として有名だ。

尾州織物の隆盛によりもたらされた「ガチャマン景気」（織機をガチャんと動かせば万の金が儲かる）に沸いた昭和30年代前半、繊維業者の打合せは織機の大きな音が鳴る工場を避けて静かな喫茶店で行われた。そこで人の良いマスターが、朝のサービスとして当時では貴重なゆで卵とピーナッツを無料でコーヒーに付けたのが、一宮市のモーニングサービスの始まりである。

サービスは瞬間に市内に広まり、半世紀以上たった今では定番のトーストやゆで卵だけでなく、店によっては味噌汁や茶わん蒸し、そば、お好み焼き、カレーなど趣向を凝らしたメニューが考案され、多くの人々を楽しませている。

「一宮モーニング」として愛され続けるこのサービスは、おもてなしの心にあふれる一宮の人々を象徴するひとつの「文化」としても広く知られている。



一宮市マスコットキャラクター いちみん Ichimin

「いちみん」は、清らかな水の流れと清々しい風が行き交う地域でよく見かける、幸せを運ぶ妖精です。人と触れ合うことが大好きなので、あちこち旅をして、多くの人と出会うことを楽しみにしています。どこかで見かけたら、声をかけてみてください。

一宮市の観光地図

ICHINOMIYA



GUIDE MAP



観光施設利用料金

令和2年3月現在

施設名称	区分料金	備考
ツインアーチ138 展望室 Twin Arch 138 Observation Deck	大人 500円 小人 200円 幼児 100円 シルバー 250円	休館日 8月・12月を除く毎月第2月曜日 開館時間 9:30~17:00 (入館は閉館30分前まで) ※次の期間は21:00まで延長 (8月13日から8月15日及び11月23日から12月25日まで) TEL (0586) 51-7105 138タワーパーク
一宮市博物館 Ichinomiya City Museum	大人 200円 大学・高校生 100円 小・中学生 50円	休館日 月曜日、祝日の翌日、12月28日~1月4日 開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで) TEL (0586) 46-3215
一宮地域文化広場 プラネタリウム館 Ichinomiya Local Culture Plaza Planetarium	大人 60円 小人 30円	休館日 月曜日 12月28日~1月4日、番組組み替え時 観覧時間 平日 午前中は団体専用 13:30 15:00 土曜日 11:00 13:30 15:00 日・祝日 11:00 13:30 14:30 15:30 春休み・夏休み・冬休みの平日 11:00 13:30 15:00 TEL (0586) 51-2180
真清田神社宝物館 Masumida Shrine Treasure Museum	大人 200円 大学・高校生 150円 小・中学生 100円	開館時間 10:00~15:00(入館には予約が必要) TEL (0586) 73-5196
三岸節子記念美術館 Memorial Art Museum of Setsuko Migishi	大人 320円 大学・高校生 210円 小・中学生 110円	休館日 月曜日、祝日の翌日、12月28日~1月4日 展示入れ替え時 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで) TEL (0586) 63-2892
尾西歴史民俗資料館 Bisai Museum of History and Folklore	無料	休館日 月曜日、祝日の翌日、12月28日~1月4日 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで) TEL (0586) 62-9711

交通のご案内 TRANSPORTATION

鉄道

JR

名古屋 → 尾張一宮 (約10分)

岐阜 → 尾張一宮 (約8分)

名鉄

名鉄名古屋 → 名鉄一宮 (約15分)

名鉄岐阜 → 名鉄一宮 (約13分)

RAILWAY

JR

NAGOYA → OWARI-ICHINOMIYA (approx. 10 min.)

GIFU → OWARI-ICHINOMIYA (approx. 8 min.)

MEITETSU

MEITETSU NAGOYA → MEITETSU ICHINOMIYA (approx. 15 min.)

MEITETSU GIFU → MEITETSU ICHINOMIYA (approx. 13 min.)

高速道路

東名・名神高速道路

一宮IC → 市内中心街 (約10分)

東北陸自動車道

一宮木曾川IC → 市内中心街 (約10分)

尾西IC → 市内中心街 (約10分)

一宮西IC → 市内中心街 (約10分)

名古屋高速道路

一宮東出口 → 市内中心街 (約10分)

EXPRESSWAY

TOMEI-MEISHIN EXPRESSWAY

ICHINOMIYA IC → DOWNTOWN (approx. 10 min.)

TOKAI-HOKURIKU EXPRESSWAY

ICHINOMIYA-KISOGAWA IC → DOWNTOWN (approx. 10 min.)

BISAI IC → DOWNTOWN (approx. 10 min.)

ICHINOMIYA-NISHI IC → DOWNTOWN (approx. 10 min.)

NAGOYA EXPRESSWAY

ICHINOMIYA-HIGASHI EXIT → DOWNTOWN (approx. 10 min.)

お問い合わせ Inquiries

一宮市経済部商工観光課

Economic Department, Commerce and Tourism Division
The City of Ichinomiya

電話 : 0586-28-9131

Phone : 0586-28-9131

〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5-6

Address : 5-6 Honmachi 2-chome, Ichinomiya, Aichi 〒491-8501

一宮市観光案内所

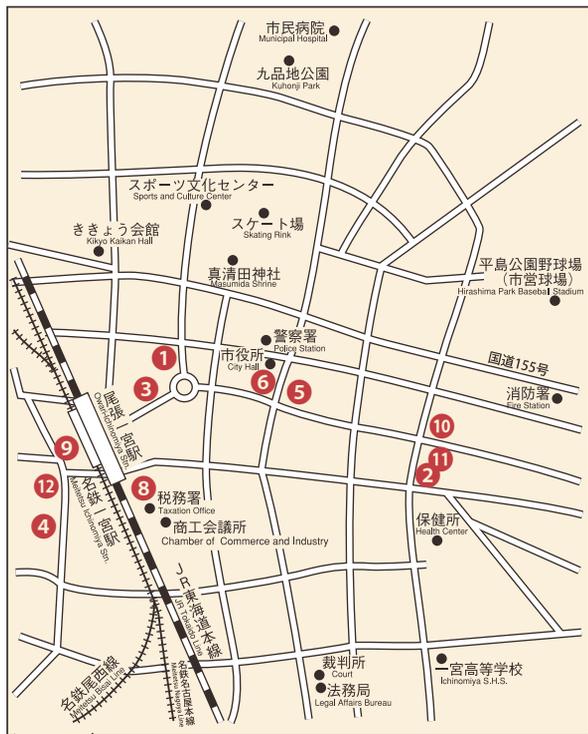
Ichinomiya Tourist Information center

電話 : 0586-85-7030

Phone : 0586-85-7030

〒491-0858 愛知県一宮市栄3丁目1-2(イビル1階)

Address : 1-2 Sakae 3-chome, Ichinomiya, Aichi 〒491-0858



- 所在地
Address
- 電話
Phone
- 交通
Transportation
- 駐車場
Parking
- 料金
Room charges
- 客室
Number of rooms
- 付帯設備
Other Facilities

① 一宮グリーンホテル
Ichinomiya Green Hotel

- 栄1-6-1
 - (0586) 23-0511
 - JR・名鉄一宮駅より徒歩5分
 - P 21台
 - ¥5,000円～
 - シングル(バス・トイレ付)……26室
ツイン (バス・トイレ付)……12室
ダブル (バス・トイレ付)……4室
トリプル (バス・トイレ付)……2室
 - ☒ 喫茶 なかの
-
- 1-6-1 Sakae
 - (0586) 23-0511
 - 5min. walk from Ichinomiya Stn.(JR and Meitetsu Line)
 - P 21 cars
 - ¥5,000～
 - single with bath & toilet……26rooms
twin with bath & toilet……12 rooms
double with bath & toilet……4 rooms
triple with bath & toilet……2 rooms
 - ☒ Restaurant "Nakano"

⑤ パークホテル一座(Pinza)
Park Hotel Pinza

- 大江2-8-10
- (0586) 73-8900
- JR・名鉄一宮駅より徒歩7分
- P 13台
- ¥6,500円～21,000円(朝食付)
- スタンダードダブル(バス・トイレ付)……28室
デラックスツイン(バス・トイレ付)……5室
- ☒ ひのき大浴場

- 2-8-10 Oe
- (0586) 73-8900
- 7min. walk from Ichinomiya Stn. (JR and Meitetsu Line)
- P 13 cars
- ¥6,500～¥21,000 (including breakfast)
- standard double (with bath and toilet)……28 rooms
deluxe twin (with bath and toilet)……5 rooms
- ☒ Hinoki large public bath

⑨ ホテルルートイン一宮駅前
Hotel Route Inn Ichinomiya Ekimae

- 新生1-2-11
 - (0586) 47-7601
 - JR・名鉄一宮駅より徒歩3分
 - P 39台(有料:500円)
 - ¥7,100円～(朝食付)
 - シングル (バス・トイレ付)……92室
コンフォートシングル(バス・トイレ付)……33室
ツイン (バス・トイレ付)……13室
コンフォートツイン……6室
ファミリーダブル……4室
バリアフリールーム……1室
-
- 1-2-11 Shinsei
 - (0586) 47-7601
 - 3min.walk from Ichinomiya Stn.(JR and Meitetsu Line)
 - P 39Cars(¥500)
 - ¥7,100～(including breakfast)
 - single with bath&toilet……92rooms
comfort single with bath&toilet……33rooms
twin with bath&toilet……13rooms
comfort twin with bath&toilet……6rooms
family double with bath&toilet……4rooms
Barrier-free with bath&toilet……1room



② 一宮シティホテル Ichinomiya City Hotel

〒2-21-1
☎(0586)73-3700
🚗 JR・名鉄一宮駅より徒歩15分
🅐 40台
💰 ¥4,100円~27,300円
👤 シングル(バス・トイレ付).....50室
ツイン(バス・トイレ付).....12室
ダブル(バス・トイレ付).....21室
ツインハイクラス(バス・トイレ付).....1室
✖️ ラウンジ ハーベスト(朝食のみ)

〒2-21-1 Izumi
☎(0586)73-3700
🚗 15min. walk from Ichinomiya Stn. (JR and Meitetsu Line)
🅐 40cars
💰 ¥4,100~¥27,300
👤 single with bath & toilet..... 50 rooms
twin with bath & toilet..... 12 rooms
double with bath & toilet..... 21 rooms
twin high class with bath & toilet...1 room
✖️ Lounge "Harvest" (Only Breakfast)

③ アパホテル<尾張一宮駅前> Apa Hotel (Owari Ichinomiya Ekimae)

〒3-3-10
☎(0586)24-6111
🚗 JR・名鉄一宮駅より徒歩1分
🅐 45台(提携駐車場含)
💰 ¥5,400円~27,000円
👤 シングル(バス・トイレ付).....63室
ツイン(バス・トイレ付).....11室
セミスイート(バス・トイレ付).....1室
✖️ レストラン アンシエヌ

〒3-3-10 Sakae
☎(0586)24-6111
🚗 1 min. walk from Ichinomiya Stn. (JR and Meitetsu Line)
🅐 45cars
💰 ¥5,400~¥27,000
👤 single with bath & toilet..... 63 rooms
twin with bath & toilet..... 11 rooms
semi-suite with bath & toilet... 1 room
✖️ Restaurant "Ancienne"

④ シルクホテル Silk Hotel

〒新生2-5-32
☎(0586)43-6611
🚗 JR・名鉄一宮駅より徒歩3分
🅐 10台(有料:700円)
💰 ¥5,150円~10,000円
👤 シングル(バス・トイレ付).....62室
ツイン(バス・トイレ付).....2室
和室(バス・トイレ付).....2室
✖️ ラウンジ シルク(朝食のみ)

〒2-5-32 Shinsei
☎(0586)43-6611
🚗 3 min. walk from Ichinomiya Stn. (JR and Meitetsu Line)
🅐 10cars (¥700)
💰 ¥5,150~¥10,000
👤 single with bath & toilet... 62 rooms
twin with bath & toilet... 2 rooms
Japanese room with bath & toilet... 2 rooms
✖️ Lounge "Silk" (Only breakfast)

⑥ ホテルパフェ・ドゥ・シャーム Hotel Parfait de charm

〒本町2-7-12
☎(0586)82-0810
🚗 JR・名鉄一宮駅より徒歩7分
💰 ¥4,800円~
👤 ダブル(バス・トイレ付).....26室
スイートルーム(露天風呂・トイレ付).....2室

〒2-7-12 Honmachi
☎(0586)82-0810
🚗 7min. walk from Ichinomiya Stn. (JR and Meitetsu Line)
💰 ¥4,800~
👤 Double (with bath and toilet) 26 rooms
Suite (with open-air bath and toilet) 2 rooms

⑦ ビジネスホテルサカイ Business Hotel Sakai

〒妙興寺1-3-11
☎(0586)45-7020
🚗 名鉄妙興寺駅より徒歩5分
一宮インターより車で5分
🅐 50台
💰 ¥5,400円~7,020円
👤 和室9畳(バス・トイレ付).....25室

〒1-3-11 Myokoji
☎(0586)45-7020
🚗 5min. walk from Myokoji Stn. (Meitetsu Line)
5 min. drive from Ichinomiya IC
🅐 50cars
💰 ¥5,400~¥7,020
👤 Japanese room with bath & toilet 9-jo...25 rooms

⑧ 東横INN名古屋尾張一宮駅前 Toyoko Inn Nagoya Owari Ichinomiya Ekimae

〒栄4-4-10
☎(0586)25-1045
🚗 JR・名鉄一宮駅より徒歩3分
🅐 30台(有料:500円)
💰 ¥6,200円~10,200円
👤 シングル(バス・トイレ付).....89室
エコノミーダブル(バス・トイレ付).....13室
ダブル(バス・トイレ付).....8室
ツイン(バス・トイレ付).....5室
バリアフリーツイン(バス・トイレ付).....1室

〒4-4-10 Sakae
☎(0586)25-1045
🚗 3min. walk from Ichinomiya Stn. (JR and Meitetsu Line)
🅐 30 Cars (¥500)
💰 ¥6,200~¥10,200
👤 Single (with bath and toilet)89 rooms
Economy Double (with bath and toilet)...13 rooms
Double (with bath and toilet) 8 rooms
Twin (with bath and toilet) 5 rooms
Barrier-free twin (with bath and toilet) 1 room

⑩ 水月旅館 Suigetsu Ryokan

〒泉2-6-17
☎(0586)73-3512
🚗 JR・名鉄一宮駅より徒歩15分
🅐 6台
💰 ¥4,800円
👤 和室 6畳.....5室
10畳.....1室

〒2-6-17 Izumi
☎(0586)73-3512
🚗 15 min. walk from Ichinomiya Stn. (JR and Meitetsu Line)
🅐 6cars
💰 ¥4,800
👤 Japanese room 6-jo.....5 rooms
10-jo.....1 room

⑪ ビジネス旅館 若竹 Business Ryokan Wakatake

〒泉2-11-5
☎(0586)24-2430
🚗 JR・名鉄一宮駅より徒歩17分
🅐 5台
💰 ¥3,850円~
👤 和室 5.5畳.....1室
6畳.....3室
12畳.....1室

〒2-11-5 Izumi
☎(0586)24-2430
🚗 17min. walk from Ichinomiya Stn. (JR and Meitetsu Line)
🅐 5cars
💰 ¥3,850~
👤 Japanese room 5.5-jo.....1 room
6-jo.....3 rooms
12-jo.....1 room

⑫ ABホテル一宮 AB Hotel Ichinomiya

〒新生1-9-5
☎(0586)46-1005
🚗 JR・名鉄一宮駅より徒歩2分
🅐 提携駐車場あり
💰 ¥4,800円~(朝食付)
👤 シングル(バス・トイレ付).....120室
ツイン(バス・トイレ付).....4室
トリプル(バス・トイレ付).....2室
✖️ 大浴場

〒1-9-5 Shinsei
☎(0586)46-1005
🚗 2min. walk from Ichinomiya Stn. (JR and Meitetsu Line)
🅐 There is partner parking lot
💰 ¥4,800~(including breakfast)
👤 Single (with bath and toilet)..... 120 rooms
Twin (with bath and toilet)..... 4 rooms
Triple (with bath and toilet)..... 2 rooms
✖️ Big bath

市内に所在する宿泊施設の内、愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合
一宮支部加盟店、一宮市観光協会会員店を掲載しました。

Of all the accommodation facilities in the City, only the facilities
registered with Ichinomiya Branch of Aichi Pref. Inn Association Guild and
Ichinomiya City Tourist Association are listed here.

一宮市観光協会推奨のおみやげ

内助の功



伊住屋
木曾川町黒田中針口北ノ切4-1
☎0586-86-3569

一豊くん



御菓子司 亀屋
木曾川町黒田北宿二ノ切52
☎0586-86-4620

どまんなか



津島屋 若松屋末広
本町通8-18 末広2-22-19
☎0586-72-2347 ☎0586-45-5608

絆最中



虎屋
木曾川町黒田西町北25
☎0586-86-3339

織どころ



尾西金蝶堂
小信中島字郷北13-3
☎0586-62-4327

出世太鼓



萬寿堂菓子舗
木曾川町黒田古城8
☎0586-86-3680

尾張五織



八雲堂 若松屋末広
大江3-2-21 末広2-22-19
☎0586-72-4440 ☎0586-45-5608

真清田の龍神さま



和菓子 ふくら庵
西島町1-2
☎0586-23-0014

いちご大福



有野田屋菓子舗
今伊勢町馬寄字吞光寺 14-6
☎0586-73-7280

いちみんクッキー



一宮市立いずみ作業所
浅井町西浅井字式軒家60
☎0586-51-3005

妙興報恩禅寺そば



八千代製麺(株)
丹陽町九日市場1816
☎0586-77-4016

宮蔵漬



三井宮蔵
三ツ井1-10-8
☎0586-81-3896

福来蜜



一宮市養蜂組合
真清田2-5-37
☎0586-73-6541

大吟醸 ツインアーチ138



金銀花酒造(株)
今伊勢町馬寄字山之小路19
☎0586-73-3282

138ブレンドいちのみや珈琲



いちのみや珈琲協会
本町4-1-9
☎0586-27-4838

いちみんジャカードストール



(株)今賢
奥町堤下-87
☎0586-62-4828

オーガニックコットンガラ紡製品



木玉毛織(株)
西萩原上沼40
☎0586-68-1131

幸せを呼ぶ妖精 いちみんのジャガードグッズ



(有)サン・オリオン
せんい 1-9-18
☎0586-77-3511

◎一宮市観光物産推奨とは…◎

物産品の開発や販路の拡大を図り、業界の健全な振興や、一宮市の観光PRと経済の発展に寄与するとともに、消費者に良質の観光物産品を提供することを目的として、一宮市観光物産推奨審査委員会が行う推奨のことをいいます。

発行：令和2年4月

編集：一宮市経済部商工観光課

〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号

電話 (0586)28-9131

Published : April, 2020

Edited & Published by : Economic Department, Commerce and Tourism
Division The City of Ichinomiya

5-6 Honmachi 2-chome, Ichinomiya, Aichi 〒491-8501
Phone : (0586)28-9131